



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校

学校だより 第14号

令和8年 9月25日

文責：校長 中村 佳代

*** 図書館まつり（9/14～18） ***

9月14日（月）から始まった「図書館まつり」では、図書委員会の子どもたちが中心となって、「本探し」「絵本の読み聞かせ」「O×クイズ」に「縦割り班対抗国名あてクイズ」のイベントを実施しました。昼休みになると、いろいろな学年の子どもたちが集まってきて、とても楽しそうに活動していました。小さなカードを手に入れては、うれしそうに見せに来てくれる子どもたちの姿



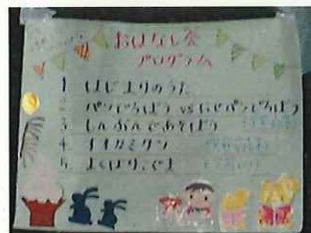
もありました。委員会の子どもたちも、先生方も大忙しです。けれども、みんな笑顔でした。

様々なメディアの発達や普及で、「読書離れ」「活字離れ」が指摘されるようになって久しいように感じられますが、子どもたちには日頃から本に親しみ、頭も心も想像力も豊かになってほしいと願います。



*** 「人形劇」（おはなしボランティア） ***

9月18日（金）の4時間目（と昼休み）に、「おはなしボランティア」のみなさんによる「人形劇」を行っていただきました。



歌に始まり、大型絵本や紙芝居、子どもたちは、とても楽しそうに聞き入っていました。大掛かりな準備に時間を掛けた練習、大変だったことだろうと思います。ありがとうございました。



*** 授業参観（雄飛学園フリー参観を兼ねて） ***

9月15日（火）に、授業参観を行いました。二学期になって、まだ二週間ほど・・・子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。今回は、担任以外の先生方（専科等）の授業やTT（養護教諭との）による授業も、御参観いただけたかと思います。雄飛学園のフリー参観も兼ねておりましたので、金泉中学校や金立小学校の先生方にも、参観していただきました。

1年生の教室では、日直さんが前に立ち、授業の初めと終わりに、号令を掛けたり振り返りを言ったりすることもできるようになっています。毎日の学びの中で、たくさんのことを吸収し、一つ一つのことを確実に身に付け、積み重ねてきています。大きな成長だだと思います。これから4か月の子どもたちの成長を楽しみにしているところです。御参観いただき、ありがとうございました。



*** 「さがすたいる」出前授業（3年） ***



9月17日（木）に、3年生の子どもたちを対象に、「さがすたいる」についての出前授業を行っていただきました。みなさんは、「さがすたいる」という言葉をお聞きになったことはあるでしょうか？この事業は、佐賀県が力を入れて取り組まれている活動の一つで、「様々な立場や環境にある、多様な人々が、安心して心地よく生活できるように」と考えられ、「人にやさしいまちづくり」につなげようと推進されているプロジェクトです。今回は、県民協働課の担当のみなさんと視覚障害者の方々を支援する団体のみなさんによる出前授業となりました。私たちが暮らしていく中では、「ハード（設備）」面と「ハート（支え合い）」面での「やさしさ」が大切であることを伝えていただきました。幼い頃から全盲で、盲学校で学ばれた御経験のある、当事者の方からのお話をうかがうこともできました。目が不自由な子どもたちが学校でどのような学び方をしているのか教えていただいたり、実際に教室から図書室までを案内したりする体験も行いました。身の回りにある日用品の中には、視覚支援の工夫がなされているものが多くあることも知ることができました。「自分にも何かできることがあるかな？」と考えられる子どもたちであってほしいと思います。学校の中でも「さがすたいる」を広めていきたいですね。



*** 「えひめあやめ」について学ぼう（4年） ***

9月17日（木）に、4年生の子どもたちが、ふるさとの宝物として大切にされ続けている「えひめあやめ」について、「保全会」の皆様から御講話をいただきました。地域の自然や文化についても、学びを深めている子どもたちです。書籍やICT等を活用しながら、調べてきたことはたくさんあったでしょうが、さらに詳しいお話をお聞かせいただくことができました。ありがとうございました。

